

# 防災分野のイノベーション

多々納裕一  
京都大学防災研究所



# 復興構想会議

- 防災から減災へ：あらゆる可能な手段を使って人命を守る
- これまでのように専ら水際での構造物に頼る防御から、「逃げる」ことを基本とする防災教育の徹底やハザードマップの整備など、ソフト面の対策を重視せねばならない。さらに、防潮堤等に加え、交通インフラ等を活用した地域内部の第二の堤防機能を充実させ、土地のかさ上げを行い、避難地・避難路・避難ビルを整備する。加えて、災害リスクを考慮した土地利用・建築規制を一体的に行うなど、**ソフト・ハードの施策を総動員することが必要である**。なお、地域づくりにあたっては、これまで以上に、人と人の結びつきを大切にするコミュニティの一体性を確保することについても、十分に考慮しなければならない。

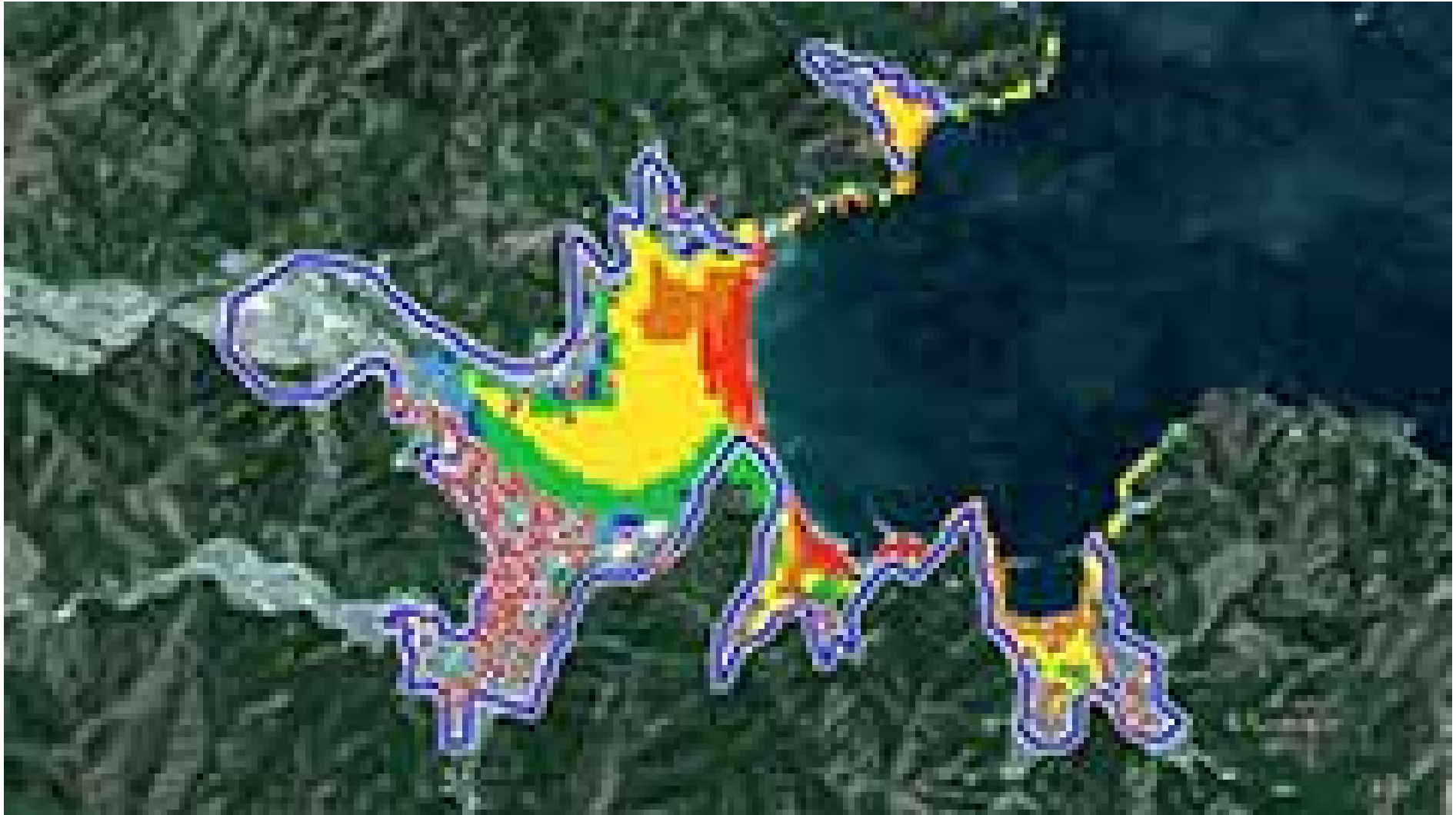
行政依存 技術信仰 対応能力の欠如



我々は本当に自助の能力を高める努力をしてきたのか？



# Distribution of the killed people



NHK:震災みらい学校HPより

# ソフト対策: 防災教育



## “釜石の奇跡”

- 群馬大学の片田教授とその研究グループは8年間にもわたって防災教育を釜石市の小中学校で実施.
- 学校の管理下にあったほとんどの生徒は安全に避難した.

## 3つの教え

- (1) 想定を信じるな
- (2) 最善を尽くせ
- (3) 率先避難者たれ！

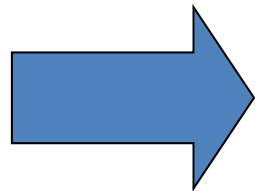




# Hasus FEMA's Methodology for Estimating Potential

## Losses from Disasters

- 地震, 台風, 洪水のモデル
- だれでもアクセス可能で, データ等のカスタマイズも可能
- 連邦洪水保険等にも利用



国家プロジェクトとして1990年代から開発に着手,  
1997年にリリース.

# HazJapan(仮)は不要か？：総合的 減災対策の実現のために

- 住民が自らの居住地の安全性を把握し、自らの意志で自分を守るための方策を選択できるようにすべきである。
- 要素技術はある。統合化かできていないだけ！  
→ Implementation Science(実践適応科学)の重要性
- リーダーシップの不在！！
- 学術的価値よりも、実現される安全性こそが重要！
- 防災政策を担う国家機関(内閣府？)が中核となつて、そのための基盤となるプロジェクトを推進すべきである。